

徳島赤十字病院臨床研修プログラム：眼科

コース責任者：佐埜 弘樹

研修期間：選択必修科（外科）として12週間のうち4週間
選択科として4週間から

I：一般目標（GIO：General Instructional Objective）

眼科の基礎的な検査の技術を習得し、基礎的な眼科疾患の診断とプライマリケアができる知識を得ることを目標とする。また、臨床一般で経験する眼科疾患に対する基本的な症状・検査・診断・治療について学ぶ。

II：行動目標（SBOs：Specific Behavioral objectives）

A. 基本姿勢・態度 研修医手帳を参照

B. 主な診察法・検査・手技

①主な医療面接・基本的な身体診察法

- 1) 眼科疾患の問診及び視診（眼位・眼球運動・対光反射など）の方法を理解し、実施することができる。
- 2) 眼と全身疾患の関連を理解することができる。
- 3) 点眼薬の基礎的な知識を身に付けることができる。
- 4) 眼科救急疾患の診断と初期治療を指導医または上級医のもとで実践することができる。
- 5) 眼科疾患の他科との連携を強化し、必要に応じて専門診療科に対して適切にコンサルテーションをすることができる。
- 6) 感染性結膜炎の院内感染対策を理解し、実践することができる。

②主な基本的な臨床検査

- 1) 基本的臨床検査（屈折・視力・眼圧・眼底・視野・細隙灯顕微鏡検査など）を行うことができる。

③主な基本的手技

処置・手術・その他

- 1) 基本的処置・手技（点眼・眼科救急疾患の基本的処置など）を行うことができる。

C. 主な症状・病態の経験

白内障、緑内障、屈折異常、結膜炎、糖尿病網膜症、急性緑内障発作、網膜中心動脈閉塞症、眼部化学腐蝕 など

Ⅲ：学習方法 (LS：Learning Strategy)

1) LS (方略) 1：On-the-job training

■主な外来業務

①外来診察

- ・月曜～金曜日の午前（火・金の午前は特殊検査およびレーザーなどの外来処置あり）の外来診察に、指導医または上級医とともにあたる。また、視能訓練士とともに基本的な眼科検査をする。

②手術

- ・月、水、木曜日の午後（全身麻酔手術の場合は、木曜日の午後から）の手術に助手として入る。

②救急

- ・診療時間外を問わず対応する。

■補足

- ・機会があれば、豚眼を用いた白内障手術を行う。また、徳島大学病院・眼科で豚眼を用いた白内障手術の実習があればできるだけ参加する。

2) LS (方略) 2：カンファレンス・勉強会

- ・金曜日の午後に、1週間を振り返り、症例についてカンファレンスする。

3) LS (方略) 3：学会・研究会・学術活動

- ・学術講演会や各種の院内研修（医療安全や感染対策など）に積極的に参加する。
- ・眼科疾患に対する講演会や研修会に積極的に参加して知識を深めるとともに、学会発表や症例報告論文を作成する能力を身に付ける。

○週間予定表

	月	火	水	木	金
午前	外来	外来 特殊検査及び レーザー等の 外来処置	外来	外来	外来 特殊検査及び レーザー等の 外来処置
午後	手術	外来	手術	手術	カンファレンス

IV：学習評価 (EV：Evaluation)

PG-EPOC による総合評価

- 1) 個々の診療記録と退院要約（サマリー）は、定期的に指導医の評価と承認を受ける。
※退院要約（サマリー）は、1週間以内に記載すること。
- 2) ローテイト研修終了時に、PG-EPOC に診療経験にもとづく自己評価を行い、指導医による評価を受ける。
- 3) 診察態度や協調性について看護部及びメディカルスタッフ等による 360 度評価を行う。